MYP通信

三者面談号　2026.7

MYPｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　吉澤勇武

変化 と ふりかえり

１学期が終わりました。

　生徒のみなさん、この１学期に自分の中で変化したことはありましたか？この機会にふりかえってみましょう。

　チャレンジしたという発展的な変化だけでなく、いつもより頑張れなかったという後ろ向きな変化もあるかもしれません。

　変化そのものだけを見て、良し悪しを評価して終わらないようにしましょう。もっと良くするには？なぜうまくできなかったのか？と、ふりかえりをすることで、ぜひ次の取り組みへとつなげてください。



　２学期からの更なる変化、良い変化を期待しています。

評価→ふりかえり→成長

　MYPでは、日々の学習の集大成として取り組む、総括的評価課題(Summative Assessment Task)があります。これは、ユニットの「探究のテーマ」について、皆さんが主張や理解を発展させるために、各教科の先生が用意したものです。また、課題に取り組むことで、ユニットを通して獲得したスキルを発揮してもらい、その成長度合いを評価・フィードバックする機会にもなります。



「評価」は、人と競いあうためのものではなく、
自分の努力や理解を「ふりかえる」ためにあります。

　数字を見て、一喜一憂するのではなく、１学期の自分の取り組んできた歩みをふりかえり、どのアプローチが不十分だったか、さらに高みを目指すにはどのような取り組み方をするのが良いのかと考え、次のユニットでの取り組みにつなげてください。



各教科の観点「評価規準」

各教科のMYPの評価規準をまとめると次のようになります。

	A	B	C	D
言語と文学	分析	構成	創作	言語の使用
個人と社会	知識と理解	調査探究	コミュニケーション	批判的思考
数学	知識と理解	パターンの探究	コミュニケーション	実生活への数学の応用
デザイン	探究と分析	アイデアの発展	ソリューションの制作	評価
芸術	調査	発展	創作・実演	評価
理科	知識と理解	探究と計画	処理と評価	科学的影響と振り返り
保健体育	知識と理解	活動の計画	応用と実践	パフォーマンスの振り返りと改善
言語の習得	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
学際的な単元	評価	統合	振り返り	
コミュニティプロジェクト	調査	計画	行動	振り返り

評価規準の到達度と成績

各教科、４つの評価規準それぞれに、レベルの定量的な価値の説明が書かれた、ルーブリックがあります。(最高の到達度は８)

① 総括的評価課題では、この評価規準に沿って、課題別のレベルの説明が書かれたルーブリックが示され、取り組んだ成果が評価されます。(８段階)

② ３学期末には、１年間の各課題の評価を基に、評価規準ごとの到達度(８段階)が通知されます。(到達度の「ベストフィット」と呼んでいます。)

③ 各教科、４つの評価規準の到達度(８段階)の合計(最高３２)から、IB成績(７段階)と文科省成績(５段階)が計算されます。

8段階×4規準	1～5	6～9	10～14	15～18	19～23	24～27	28～32
ＩＢ成績	1	2	3	4	5	6	7
文科成績	1	2	3	4		5	

※たとえば、数学の各評価規準の到達度(3学期末)が、

A知識理解：４　Bﾊﾟﾀｰﾝの探究：３　Cｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ：５　D実生活への応用：７

であれば、　６＋３＋５＋７＝１９(最高３２)

なので、　IB成績：５(７段階)・文科省成績：４(５段階)　となります。